

## 合唱コンクールを終えて

今週は「合唱コンクールを終えて」の作文を掲載します。

### 〈生徒作文〉

「祝 合唱コンクール」

1年B組 N. H

初めての合唱コンクール、僕は、何事にも挑戦してみよう。そんな小さな気持ちで始めた実行委員会。そして努力が報われた本番。僕は、思った。ここまでやってきてよかった。

合唱コンクールは一人ではできない。理由は、合唱だからだ。B組の練習は、そんな基礎から始まったように感じる。教室では、「おい、テノール」や「もっとしっかりやろう」などの言葉から始まり、いつも練習が通しを一回しかできなく、曲の研究が主だったが、クラスが一丸となり始めたのは、やはりあの「旅立ちの時」だろう。あの時から合唱としてクラスが明るくなり、テノール歌わない事件も減り、みんな合唱が楽しいと思えるようになってきていたと思う。

むかえた本番当日、僕はすごい緊張をしていた。金賞とれるか？そもそもミスせず歌いきることができるか？そんなことを思い歌った。しかし、COSMOSのAh~の部分で音程をミスしてしまいました。しかし周りのみんなの声がミスをカバーしてくれているかのような感じだった。そのため一人がミスをしたら、全員がカバーできる、最高の仲間たちだと思った。

練習から本番まで、かなりいろいろなことがあり、大変だったが、金賞という形で結果を表せて、うれしく思う。そして、またこれからも行事があり、そのたびに挑戦し続けたい。



金賞記念

「仲間」

1年A組 S. S

私はこの合唱コンクールで成長できた、または変わったと思うことがある。それは団結する力だ。

私は正直、合唱の良さが分からなかった。だが、授業や放課後練習などで毎日歌っていくと共に、私の音楽の捉え方が変わっていった。みんなで良い合唱をすることができたら、みんなで喜び合う。改善点があったらそこを練習するなどのことを繰り返していくと、「良い合唱ができるとこんなに楽しいんだ。」と楽しく感じるようになった。

また、結果は賞を取れなかった。だが、みんなが教室で「みんなで今日までがんばれたんだから良かった。」「賞を取るより、団結し、音楽を楽しむことが大切だね。」と言い合っていてその通りだと思った。みんなでA組として団結できたなら良かったと思う。

私は仲間の大切さを学べた。



団結できたA組

## 「合唱コンクール」

1年B組 T. Y

私が今回の合唱コンクールで大切にすることは、クラス目標の「臨喜応変」と分析です。

初めての合唱コンクールで、どう練習すればいいかわからなかったけど、先生や実行委員がこの部分はどう歌いたいのか、自分たちはどのように歌いたいのか、自分たちはどのように歌っているかなどの改善点をクラスで話したものをまとめたり、パートリーダーや指揮者から客観的にアドバイスをしてもらったりと、自分たちなりの分析で確実にうまくなったと思います。

練習で他クラス、特にD組の自由曲「怪獣のバラード」を聴いてすごいと思いました。指揮者の力強い指揮と、伴奏者の生き生きとした伴奏。そして楽しそうに歌うクラスを見て、B組はより「臨喜応変」を意識するようになったと思います。歌う前、話し合いの前は騒がしくても、合唱や話し合いが始まると、みんな真剣な様子で取り組み、メリハリ、「臨喜応変」を意識しているなと思いました。

合唱コンクール本番当日。朝は動画を観て騒がしかったけど、本番が始まると、他クラス、他学年の合唱を真剣に聴いていました。やはりB組の得意分野はメリハリをつける。一生懸命に取り組むことだと思いました。これからも授業や他のイベントでこの力を発揮したいなと思います。



「臨喜応変」のB組

## <合唱コンクール当日（ほっと一息ギャラリー）>



休憩中...



心ほ2年生（2年生声出し中）

### ☆来週の予定☆

10/28(月)	定期考査前学習週間始 学年朝礼 ①～⑥平常時程
10/29(火)	わくわく自習室 ①～⑥平常時程
10/30(水)	①～⑤平常時程
10/31(木)	わくわく自習室 ①～⑥平常時程
11/1(金)	学習・読書月間始 ①～⑥平常時程



運営も頑張ります